

第（ 3 ）年 美術科の授業

美術科の目標・特性	美しいものを美しいと感じる心や、自分が五感で感じたことを大切にしながら、形や色、材料で表現する、また表現されたものから、その意味や価値を感じ取ろうとする気持ちや姿勢を学ぶ教科です。想像（イメージ）したり、材料や道具で試したり技術を磨いたりしながら、表現することの楽しさを体験し、一人一人の表現を理解し尊重し大切にできる豊かな心を育てます。	
評価の観点	関心・意欲・態度	表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組み、美術を学習することへの意識を高めている
	発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて豊かに主題を発想し、独創的な表現の構想をすることができる
	創造的な技能	形、色、材料の働きを生かし、創意工夫して表現することができる
	鑑賞の能力	感性や想像力を働かせて美術の世界に親しみ良さや美しさを味わうことができる
授業内容・単元構成	題材名（実施月）	到達目標
	遠近法	○等角投影、斜投影、透視図が理解でき、描くことができる ○構成美の要素、抽象形を使った構成ができる
	見え方の不思議（平面構成）	○図法や錯視の原理を応用し立体感のある平面構成を考えることができる ○色の働きを理解して配色を考えることができる ○混色や彩色を生かして表現することができる ○ていねいに着彩することができる
	篆刻	○篆書体の性質や文字のバランスなど学習したことを生かすことができる ○文字や篆書体を使って印のデザインを考えることができる ○石の特性がわかり印を彫ることができる ○捺印することができる
	彫刻	○印材の持つところの機能を考えたデザインをすることができる ○丸彫りをイメージすることができ、削るところがわかる ○彫刻刀を安全に使い、デザインした形に彫ることができる ○耐水ペーパーで磨き仕上げることができる
自分らしさを見つけて（色紙）	○自分らしさを最もふさわしい方法で表現することができる ○自分の思いにあった言葉を選び表現することができる ○描画材料の特性にあった表現をすることができる	

学習の前に

青空や野に咲く花が美しいと思ったことはありませんか。行ったことのない外国の美しい風景をテレビや写真で見たときも「すごい！」と驚きの声を上げたこともあるでしょう。漫画雑誌の表紙もキャラクターグッズも、実は一流デザイナーによって色や形、素材が吟味されています。人は人が作った美しいものに価値を感じ尊敬をこめて眺めます。「わあ、きれい」「すごい！」という感動を大切に、いつも色や形、素材の持つ美しさに敏感であるよう、五感の窓を開けておきましょう。

○ 授業前に学習を予測して予習や用具・材料の準備を整え、意欲的に参加しましょう。美術の授業は道具や材料によって成立します。忘れ物のないようしっかり準備をして美術室へ来よう。

授業中

- まず1時間の授業に集中して取り組むことが基本です。授業に関係のない私語をしたり、用もないのに席を立つなどのことがないように、制作に没頭しましょう。
- 自分の良さ、独自性を信じてアイデアを考え、失敗をおそれずのびのびと表現しましょう。
- 納得のいく表現に到達するために粘り強く制作に取り組み、よりよくしようと工夫する努力をしましょう

学習後

- 学習したことはすぐ練習すると身に付きます。帰ったらもう一度描いたり作ったり鑑賞したりしてみましょう。学習前にはできなかったことができるようになることを確かめるよいチャンスです。

評価の仕方

- 準備物や意欲的な態度・真剣に制作に取り組む姿勢（関心・意欲・態度）
- アイデアスケッチや美術プリントなどの提出状況（関心・意欲・態度）
- テストは学習内容で知識として知っておいた方がよいことと鑑賞の内容
- 作品の観点は到達目標に到達すればBとします
 - A・・・独創的なアイデアがあり、作品をよりよくしようと創意工夫することができる
 - B・・・目標に到達し作品を完成することができる
 - C・・・目標に到達せず作品を完成することができない

先生からのメッセージ

- 絵を描くのが好きな人やものを作るのが好きな人は、どんどん描いたり作ったりしましょう。そしてよければ先生に見せてくれるとうれしいです。美術に興味のある人はいつでも気軽に相談に来てください。
- 積極的に美術館へ出かけたり文化財にふれあう機会を持ちましょう。優れた芸術作品はみんなの目と心を鍛えます。